

平成21年度保健指導者研修実施要領

1 目的

本県には、肝炎ウイルスの持続感染者が多数存在し、放置すると、肝硬変、肝がんといったより重篤な疾病に進行するおそれがある。しかし、この疾病は、本人に自覚症状が乏しく、多くの場合病気に対する正しい理解が不足していることから、医療機関を受診しないまま放置され、肝硬変・肝がんまで進行している者も少なくない。

このため、県民に最も身近に接する医療関係者に対し、肝炎ウイルス検査の必要性、発見されたキャリアの健康管理及び最新の治療等について研修を実施し、県民に正しい理解を習得させるための保健指導者を養成する。

2 研修内容等

(1) 日 時 平成22年3月18日(木) 13時から16時まで

(2) 場 所 広島県庁本館6階講堂(広島市中区基町10-52)

(3) 研修内容

ア 広島県の肝炎対策について

(肝炎インターフェロン治療費助成制度の運用変更を中心に)

イ B型慢性肝炎の診断及び治療について

広島大学病院 消化器・代謝内科講師 高橋 祥一

ウ 質疑応答